

Guillermo Vaisman

ギイヤルモ・バイスマン

アルゼンチン、エントレ・リオス州出身の合唱団指揮者、アコーディオン奏者、編曲者、音楽指導者。ニューヨークに拠点を移し 2004 年 国連合唱団の音楽監督に就任する。

アルゼンチン合唱指揮者協会(ADICORA) 創立の一員であり、国際合唱連合(IFCM) やアメリカ合唱指揮者協会(ACDA)のメンバーでもある。ニューヨークでは南米とスペインの合唱曲を演奏する混声カペラ・シュール(Cappella Sur)を創立した。

過去30年間にわたりアルゼンチン、中国、ドイツ、イタリア、日本、フィリピン、スペイン、スイス、アメリカ、ウルグアイで 600 以上のコンサートを指揮する。

中国・上海で開催された EXPO2010 の開会式で国連合唱団による「プリアンブル・フォー・ピース~世界平和への序章」の世界初演を指揮。

アメリカ、日本において垂水ヴァイオリン財団の伴奏者として定期的に招来される。2012 年 日本のシンガーソングライター加藤 登紀子と国連合唱団の共演がカーネギーホール及び広島市であり指揮を取る。2016年 再度カーネギーホールにおいて少年少女合唱団ReadsUSA を指揮。

2015 年 被爆 70 周年祈念「国連合唱団 平和と希望のコンサート」広島・長崎・東京の 3 都市 公演で指揮。

現在、ニューヨーク マンハッタンにあるシオン・イグレシア・ルテラナ教会(Sion Iglesia Luterana)の聖歌隊指揮者。合唱団指揮だけでなくニューヨークのタンゴ・シーンで幅広く活躍するミュージシャン。またセントラルパークのサマータンゴフェスティバルや音楽イベントなどで定期的に演奏している。